

## キリスト教倫理

### 現代におけるキリスト教倫理の諸問題

同志社大学 神学部  
小原克博

こはら かつひろ  
授業担当者：小原 克博

- 同志社大学 神学部・神学研究科 教授、良心学研究センター長 (2015年-)
- 良心学研究センター <http://ryoshin.doshisha.ac.jp>
- 同志社大学 一神教学際研究センター (CISMOR) センター長 (2010-15年)
- CISMOR <http://www.cismor.jp>
- 京都・宗教系大学院連合 (K-GURS) 議長 (2013-15年)
- K-GURS <http://www.kgurs.jp>
- 京都市民連中央病院 倫理委員会 委員長 (2003年-)

こはら かつひろ  
授業担当者：小原 克博

- 専門はキリスト教思想、宗教倫理学、一神教研究
- 先端医療、環境問題、性差別などをめぐる倫理的課題や、宗教と政治の関係、および、一神教に焦点を当てた文明論、戦争論に取り組んでいます。著書に『宗教のポリティクス—日本社会と一神教世界の邂逅』（晃洋書房）、『神のドラマトウロジー—自然・宗教・歴史・身体を舞台として』（教文館）、『原理主義から世界の動きが見える—キリスト教・イスラーム・ユダヤ教の真実と虚像』（共著、PHP研究所）『キリスト教と現代—終末思想の歴史的展開』（共著、世界思想社）などがあります。

## 講義概要 (シラバスより)

現代社会における倫理的な諸問題を考察の対象としながら、キリスト教の基本理念に親しんでいくことが、このクラスの目標です。

科学技術の急速な発展は、わたしたちの生活に対し、これまでの時代では考えられなかった様々な便利さをもたらすようになりました。しかし、同時に従来の道徳観や倫理では簡単に判断できないような新たな問題も生じています。たとえば、生殖技術の進歩によって、人類は革新的な方法で生命を制御するようになりましたが、同時に「人間とは何か」「生命とは何か」という古典的な問いが新たな装いで発せられています。出生前診断、遺伝子診断や遺伝子操作、中絶、ES細胞研究、終末期医療などに関する倫理的な課題が論じられていますが、キリスト教の人間観や倫理観はそれらの議論の質的向上にどのような貢献をすることができるのでしょうか。

生命倫理

また、現代の社会生活の表層的な変化とは対照的に、長い間変わらず、社会に温存されてきた差別の問題を見過ごすこともできません。人種・民族による差別、性差による差別、同性愛など性的指向性による差別、身体的差異による差別などが生み出してきた苦悩を知ると共に、それらを克服する道を模索する必要があります。

### 社会倫理

さらに、社会環境だけでなく自然環境に対する人間の責任が今日厳しく問われています。1960年代以降、環境破壊とキリスト教的な自然理解の因果関係も指摘されてきています。原発や自然エネルギーの扱いをめぐるエネルギー政策は、現代日本の喫緊の課題でもあります。キリスト教は、自然と人間の新しい関係をどのように提起することができるのでしょうか。

### 環境倫理

このクラスでは、生命倫理・社会倫理・環境倫理などを縦断・統合する形で、新しい倫理の方向を模索しながら、その際用いられているキリスト教の基本的な考え方を丁寧に解説していきます。身近な素材からキリスト教神学の基礎を学ぶことを目指しています。

## 【重要】授業用ページ

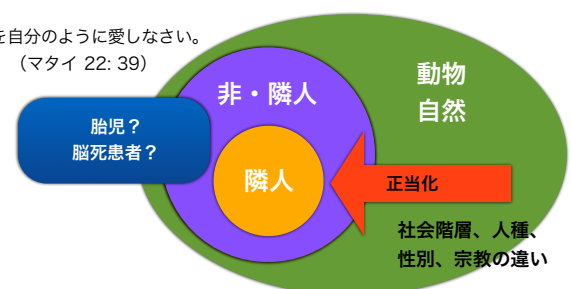
- ・ 小原克博 On-Line <http://www.kohara.ac/>
- ・ 授業用資料は、このサイトの「教育活動」→「講義概要・シラバス」→「キリスト教倫理」にアップします（遅くとも月曜日午前中にはアップ）。紙による資料の配布はありません。
- ・ 事前に授業用資料をダウンロードして、授業に出席してください。大学でチェックする場合には、必ずリロード（再読み込み）してください。

## 成績評価基準

- ・ 成績：出席（30%）+期末試験（70%）
- ・ 10分以上の遅刻は出席としませんのでご注意ください。交通遅延等、不可避の事情があった場合には証明書を出していただければ考慮します。
- ・ 就職活動等も一定の配慮をしますが、原則的に、事前に証明書等を提出するようにしてください。

## 本講義のテーマ——コミュニティ論から

隣人を自分のように愛しなさい。  
(マタイ 22: 39)



## 本講義のテーマ——「科学と宗教」から

- ・ 科学の本質：推論と制御
- ・ 現代社会の特徴
- ・ 偶然を嫌う → 偶然を制御する
- ・ 時間がかかることを嫌う → インスタントな答えを求める

## 本講義の特徴——良心学の視点

- ・ 良心 (conscience) とは
  - ・ conscience ← conscientia (コンスキエンティア、ラテン語)  
= con (共に) + scire (知る)
  - ・ その元になるのは συνείδησις (シュネイデーシス、ギリシア語)  
= συν (共に) + εἶδω (知る、考える)

## 誰と「共に知る」のか？

- ・ 自己の内面的な対話 (内なる他者との対話)  
【個人的良心、自律的良心】
- ・ 他者と「共に知る」 【社会的良心、他律的良心】
- ・ 神と「共に知る」 【信仰的良心、神律的良心】